



鉄道係員に対する暴力行為の件数・発生状況について (2023年度上期/大手民鉄16社)

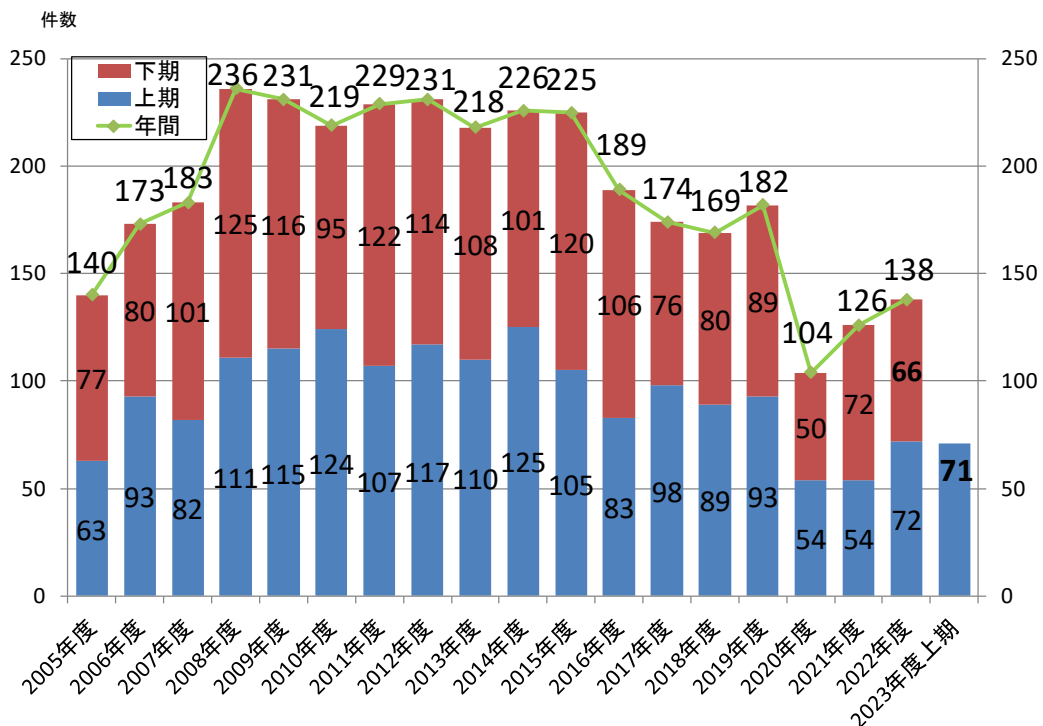
日本民営鉄道協会では、大手民鉄16社（東武、西武、京成、京王、小田急、東急、京急、東京メトロ、相鉄、名鉄、近鉄、南海、京阪、阪急、阪神、西鉄）における2023年度上期（4月～9月）6ヶ月間に発生した駅係員や乗務員等の鉄道係員に対する暴力行為の件数について集計を行ったところ、暴力行為の発生件数は71件と、前年同期と比較し1件の減少となりました。

しかし、昨年度下期に続き発生件数60件を超えており、依然として新型コロナウイルス感染症流行以前に迫る水準となっております。

暴力行為が発生する状況としては、酩酊しているお客様を介助しようと近づいた時や、はっきりとした理由が見当たらないまま突然暴力を振るわれるケースが多く、時間帯については深夜帯（22時～終電）、夜（17時～22時）の順に多く発生しています。また、加害者年齢は幅広い年代に分布しており、半数以上が酒気帯び状態で暴力行為に及んでいます。

犯罪である暴力行為をなくし、安全で快適な鉄道を維持するため、当協会では引き続き啓発ポスターの掲出など各種の取り組みを実施してまいります。

年度別 暴力行為発生件数



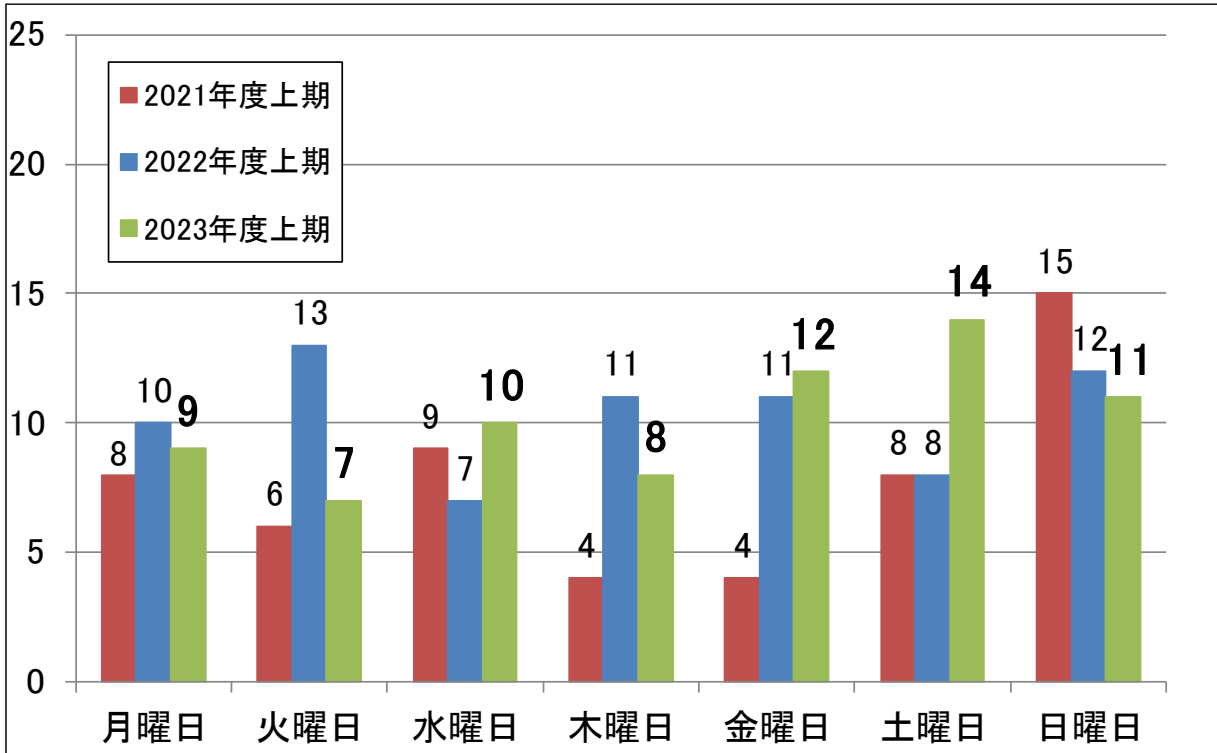
(参考) 以下の項目の集計結果を別紙にて紹介しています。

- 1.曜日別 発生件数
- 2.時間帯別 発生件数
- 3.主な場所別 発生件数
- 4.主な契機別 発生件数
- 5.加害者年齢
- 6.加害者の飲酒状況
- 7.具体的事例

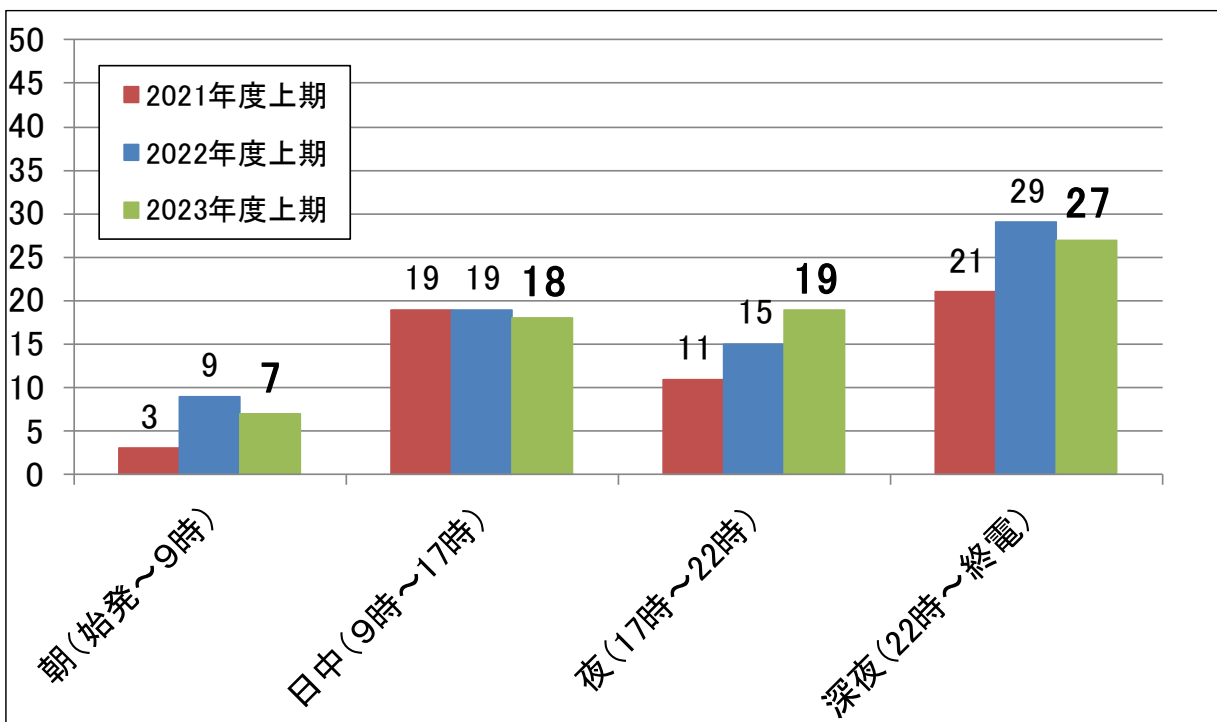
※なお、別紙に記載しておりますこと以外の詳細な内容や件数は公表しておりません。

鉄道係員に対する暴力行為の発生状況別件数・具体的事例等(詳細)

1. 曜日別 暴力行為発生件数

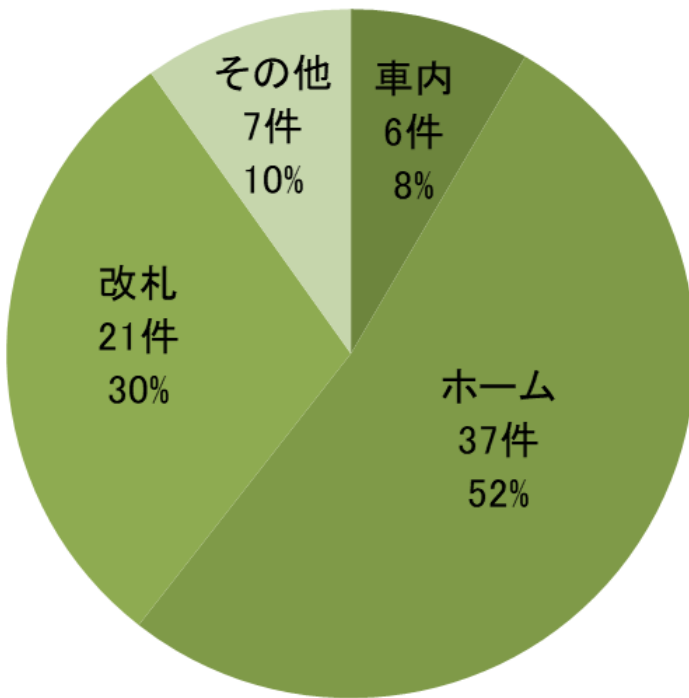


2. 時間帯別 暴力行為発生件数



3. 主な場所別 暴力行為発生件数

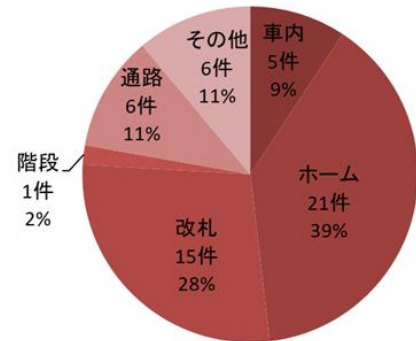
2023年度上期



2022年度上期

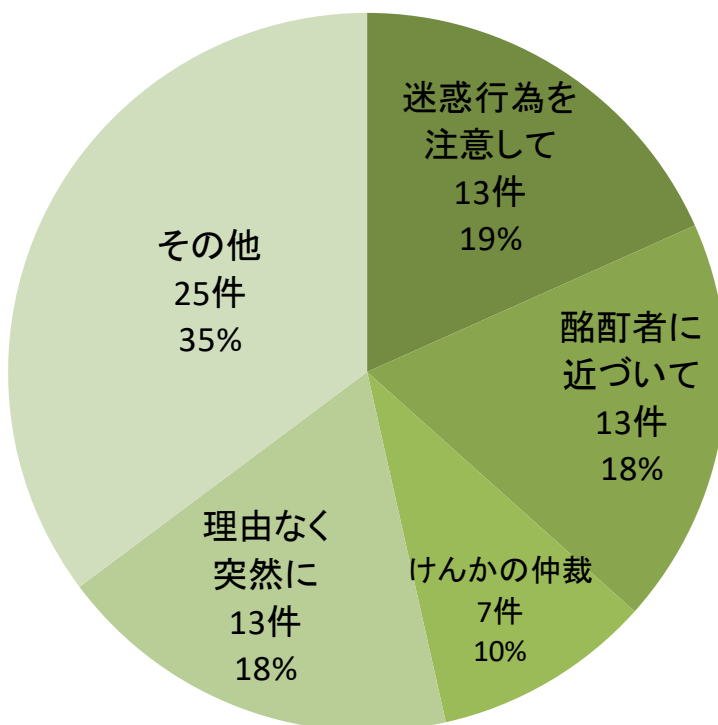


2021年度上期

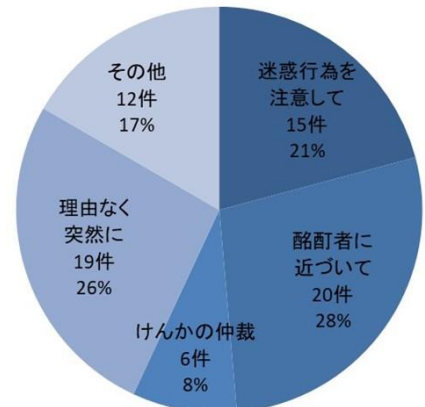


4. 主な契機別 暴力行為発生件数

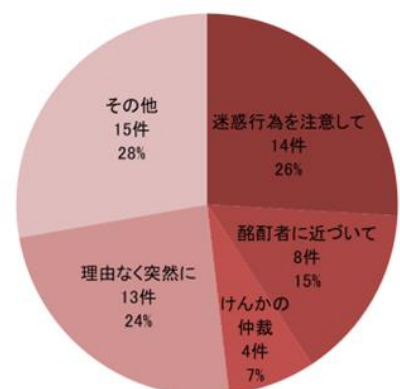
2023年度上期



2022年度上期

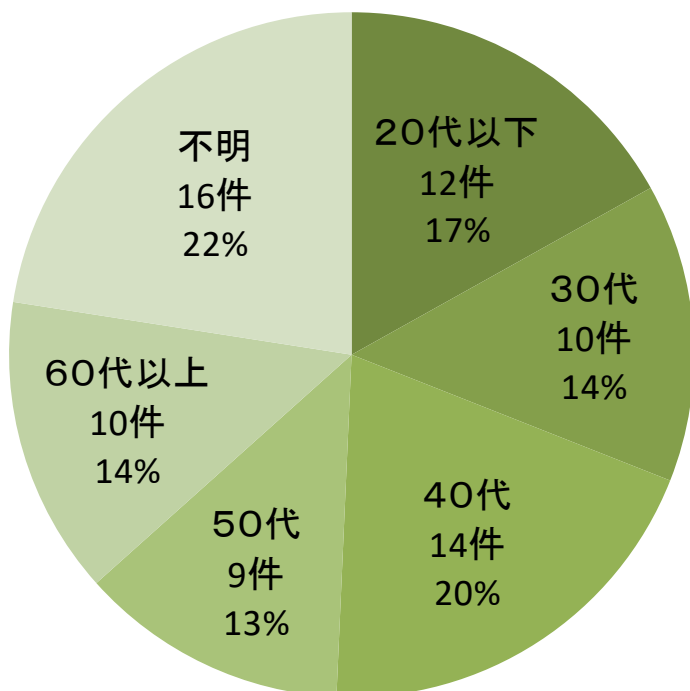


2021年度上期

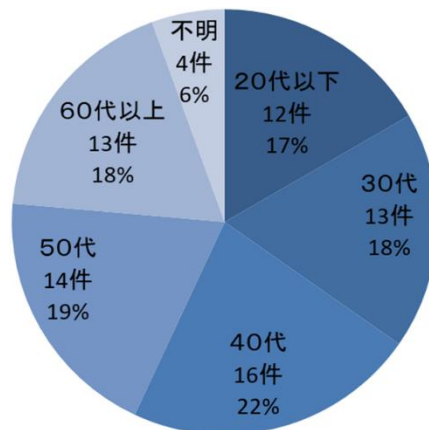


5. 加害者年齢

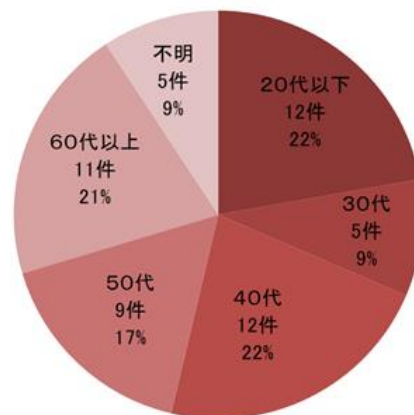
2023年度上期



2022年度上期

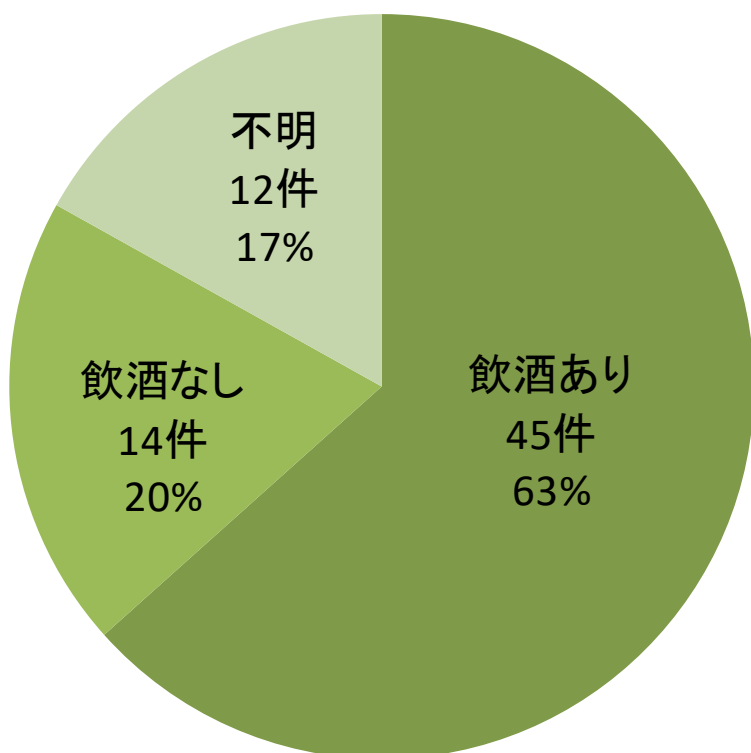


2021年度上期

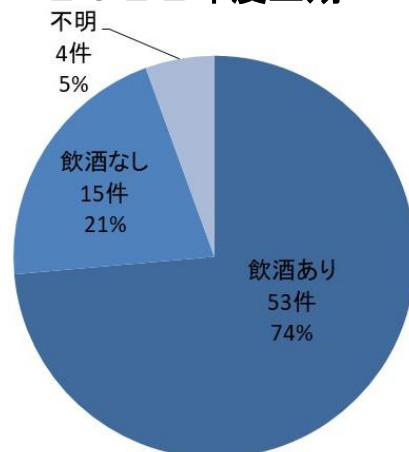


6. 加害者の飲酒状況

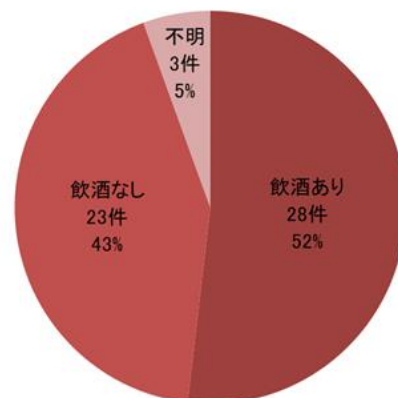
2023年度上期



2022年度上期



2021年度上期



7. 具体的事例

【事例1】

曜日	土曜日	時間帯	深夜 (22時～5時)	場所	ホーム
契機	酩酊者に近づいて	年齢	不明	飲酒	あり

最終列車の見送りでホームを巡回していた被災者が、ベンチで熟睡する加害者を認め、声をかけたが反応がないため、肩に触れたところ、突然立ち上がった加害者に首を掴まれるなどの暴力行為を受け転倒し駅構内に設置してあるクーラーに打ち付けられ負傷した。

【事例2】

曜日	金曜日	時間帯	深夜 (22時～5時)	場所	コンコース
契機	理由なく突然に	年齢	20代	飲酒	あり

車内清掃中、車内座席に横たわる20歳代酩酊男性を認め、声を掛けるも返答がないため、加害者男性を抱えながらエレベーターにてホーム階から改札階まで誘導した。同係員は加害者を改札階エレベーター前コンコースにて対応していた際、突然、加害者男性から右胸を蹴られた。

【事例3】

曜日	水曜日	時間帯	朝 (始発～9時)	場所	コンコース
契機	けんかの仲裁	年齢	30代	飲酒	なし

ホーム立哨中、女性旅客に暴力行為に及んだ加害者男性を認めたため注意し、事情を確認しようとしたところ走り出したため、後を追いかけた。加害者に追いつき事情を確認しようとしたところ、強い力で振り払われ、転倒し受傷した。

【事例4】

曜日	土曜日	時間帯	深夜 (22時～5時)	場所	改札口
契機	酩酊者に近づいて	年齢	50代	飲酒	あり

A係員は、降車後ホームに居座ろうとした加害者を改札口へ向かうよう促していた。加害者は突然走り出し、ホームで泥酔者対応を行っていたB係員を背後から左足甲部を踏みつけたため、B係員は負傷した。さらに、A係員も背後から所持していた傘で臀部を突かれ負傷した。